

2021年度事業計画

2020年は世界・国内中で新型コロナウイルス感染拡大に見舞われ社会環境が一変し、労働環境一つ見ても過去に経験したことのない年となりました。これらによりルールの変化した社会はニューノーマルと称され、コロナ禍以前へは決して戻れないところにあると思われま。2021年度を迎えて、ワクチン接種に期待しつつも終息が見ない状況は変わりません。これは決して建設業界においても例外ではありません。

全国的な地域間格差の拡大傾向、少子高齢化の進展は今もって留まるどころを知りません。当支部地域においても建設技能労働者の減少・高齢化も進み、労働力不足は深刻さを増しています。

国土交通省の【新 担い手3法】が施行され働き方改革の促進、生産性向上、持続可能な事業環境の確保などに取り組み、官民一体となって推進しています。

これらの変化に対応するために環境整備の手助けや、建築積算技術者の育成と技術向上に力を注ぐとともに、関連知識や技術の調査研究を行い、情報を発信する活動によって社会に貢献することが、公益社団法人としての協会の責務と認識しています。

そこで中国四国支部は、この様な協会の理念遂行と建設業界の流れに対応する窓口として、支部地域の実情に合わせた活動を会員及び建築コスト関連技術者に対し、引き続き展開してまいります。

以下に掲げた活動の遂行にあたり、このコロナ禍でも当協会、中国四国支部の目的、活動として目指すべき姿は変わりません。困難を有しますが、ニューノーマル社会に則した柔軟な実施形態に取り組み進めて参ります。

具体的には昨年度活動が全く出来なかった事を含め、今年度も人材育成・認定事業、調査研究・情報発信事業および第三者評価認定・相談事業を通じ、建築積算数量の重要性和建築コスト技術者の能力向上ならびに社会貢献を果たすとともに、会員・資格者へのサービス向上を目指し以下の活動を推進して行きます。

会員サービスの向上と、会員の増強

- ・会員を優先とした見学会・研修会や親睦会を開催して、会員交流・情報交換やスキルアップの場を継続的に提供します。
- ・多種多様な職域の建築コスト関連の技術者に対して、有意義な講習会や講演会を開催します。また、その場を活用し協会の活動と会員メリットの紹介を行い広く会員を募集します。
- ・女性会員及び資格者の交流の場である「積女ASSAL」を、常置委員会として正式に組織化したことにより、女性技術者の交流やスキルアップの場を提供し、関連他団体の女子会と共に連携し、女性会員および女性資格者の増強を図ってまいります。
- ・支部報「中四タイムス」の全面刷新、更に新たにメールマガジンの配信および連動したホームページの改良を終え、これらの発信手段をより活用することで会員および技術者に幅広く、きめ細かくタイムリーな情報の提供と内容の充実を引き続き図ってまいります。
- ・今年度もペリカン大作戦を継続展開してまいります。各県の建築関連団体や教育

機関および公共発注団体を中心に、協会のブランディングと相互協力の確認と推進をおこなってまいります。

人材育成事業の推進

1) 学校教育

今年度も、引き続き学校訪問を通じて「建築積算」の社会的重要性と当協会の活動内容と実績を説明し「建築積算士補認定校」の新規開拓に努めます。

認定校で建築積算を学ぶ学生に対しフォローアップする手段を検討します。また各教育機関より依頼があれば、まずは「建築積算」についての特別講座など学生に対して建築コスト関連の知識と認識を植え付ける活動をおこなってまいります。

認定校でのさらなる講義内容の充実と統一性を向上させるよう、講師間での情報交換や実施校との連携を深める活動をいたします。

2) 社会人教育

PCMシリーズ「ガイドブック」を活用した講習会を行ってまいりましたが、これからは本部によるICT活用によるオンラインセミナー開催や、eラーニング化への移行が本格化します。

当支部は、これにより当地域、各県の実情や需要を熟考し、さらにきめ細かくタイムリーな内容の講習会開催あるいはWeb講習会を検討し、実施いたします。

また、現場見学会や工場見学会を開催して、会員皆様の知識向上と相互交流の機会を継続的に設けていきます。

3) 資格認定事業

当協会の資格認定事業は、資格を付与して終わりとする売切り型ではなく、資格者に対し生涯にわたる研修機会や情報提供をおこない、実務における技術・知識の向上をはかり続ける「生涯継続型支援事業」を目指しています。当支部は地域の認定資格者に対して、今後も支部活動を通じてサポートをしてまいります。

建築積算士補は、学校教育（認定校）を通して資格試験が行われます。より多くの学生が合格し士補登録を行い、さらに建築積算士を目指すよう働きかけます。

建築積算士及び建築コスト管理士の資格試験の会場が、広島にも設けられています。当支部は実施の支援を行います。より多くの方に受験いただくために多様化した建築積算知識を必要とする職種分野に対しての広報と講習会を開催するなど、合格に向けての援助をしていきます。

評価評定及び相談事業の推進

当協会が公益法人の社会的使命として推進している第三者評定事業を、当支部としても対応して、建築コストに関連する諸問題に対して相談を受け、本部と連携して評価評定事業を推進していく努力をいたします。

「入札時積算数量書活用方式」は国交省が推進しており、各地方自治体などの発注者へ広がりつつあります。公共工事における積算数量について、相談・検証業務のニーズも高まることが想定されます。ペリカン活動を通じ、公共発注機関での採用状況や問題点について把握する意見交換を行う場を設け、評価評定及び相談事業の活用を広く伝えてまいります。

支部事業活動の改善と支部財政安定化の検討

人口減少や高齢化といった社会的要因に比例して会員・資格者の減少に伴う協会全体の問題と、人口の大都市圏集中といった地域間格差による影響の当支部地域の問題により、財政的に厳しい支部運営をおこなっています。

このような環境の変化と、本部主導による協会構造の抜本的な見直し策、急速なICT等の普及や導入などにより、本部・支部の役割も変わっていく状況が予測されます。各支部は地域に見合った活動や地域性を踏まえた独自の事業活動を創造して、さらに発展し貢献していくことが求められています。

当支部は昨年度、事務局移転等の改善施策により、支部財政の健全化に一定の成果をあげました。今後もさらに事業活動等を見直し、真に地域に沿った独自の活動と、収支改善につながる施策を同時に展開する努力と継続的検証をおこなってまいります。

40周年記念事業の実施

当支部は昨年度、支部設立40周年を迎えました。

しかし、コロナ禍により十分な活動が行えなかったことを踏まえ、今年度も引き続き活動を遂行することとしました。

これに向け昨年度の特別委員会を継続して開催内容を実施して参ります。

単なる祝賀イベントで留まることなく、この一年を通して意義のあるイベントであったと言える、更にこの機会を活用し支部将来の発展と活性化を目的にした協会当支部のPRとなり、建築積算を学ぶ学生も含めた次世代若手技術者と女性技術者も、より多く参加できるイベントである様、実施に向け努力します。